



こんにちは！もうすぐ今年度初めての中間テストですね。テスト勉強は順調ですか？  
勉強も大切ですが息抜きも勉強と同じくらい大切です。

「勉強疲れたな〜」って思ったときはぜひ図書館に来て、息抜きに本を読んでください。

図書館では6月6日（火）からイベントを開催予定です。イベントの内容は後日発表します。  
それまで楽しみに待っていてください。（担当：3-B 中野心優）



## 令和5年度前期図書委員を紹介します



	A	A	B	B	C	C
1	小林 慶大	平川 真那	島村 波夫	河村 晏李	小鷲 颯助	松本 葵
2	吉村 義人	小西真那穂	有田 藍	松尾 風花	有吉 禄	鹿熊 紗耶
3	西野 靖崇	中尾 百香	堀内 麟音	中野 心優		

### 私と読書 岩本 校長先生

正直、私は小・中・高校時代、あまり本が好きではありませんでした。今振り返ると、なんてもったいない過ごし方をしたのかと後悔しかありません。多感な時期、たくさん本を読むことで視野を広げ、物事を多角的に考えることができたのだと思います。その当時も本は読んだ方がいいとは、わかっていました。何度も、本を広げ数ページを読んでは、長続きせず、途中で挫折の繰り返しでした。

しかし、あるとき、夢中に読み続けることができた本との出会いがあったのです。何気なく、図書館で手に取った本でした。読み続けるとどんどん頭の中で場面が想像できるのです。こんなふうに、本を読めることは初めてでした。その本の作者は、原田マハさんです。それから、彼女の本を次から次へと読破しました。本好きになることは、自分にあう本と出会うことです。

特にお薦めの本は、「生きるぼくら」です。主人公は、いじめにより引きこもりになります。そのいじめのシーンがとてもしんどく途中で本を閉じてしまおうかとさえ思えるほどです。その後、母親さえも姿を消してしまいます。なぜ、母親までもが逃げってしまうのでしょうか。いじめについて考えさせられることはもちろんですが、母親の子どもに対する愛情が深いことに感動します。是非、読んでみてください。原田マハさんの本はどれもお薦めです。

（担当：3-A 中尾百香）



「生きるぼくら」  
原田マハ 913は



「白狐魔記 源平の風」  
齊藤 洋 913さ

『白狐魔記 源平の風』 齊藤 洋著 913さ

もし皆さんが、人として生まれているのではなく別の動物に生まれていたら人に対して、どうやって生きているのか、なぜ殺しあうのか、何のために生きているのか気になるのではないかと思います。この「白狐魔記 源平の風」は、人間の生きざまに興味を持った一匹の狐が仙人のもとで修業をして数々の術を身に着け、色んな英雄や事件と遭遇し、そこでたくさんの教訓を得て時を旅する大河タイムファンタジーです。是非図書館に来てこの本を手にとって読んでみてはいかがでしょうか！

(担当：3-B 堀内麟音)

『陰の実力者になりたくて』 逢沢大介著 \*学校図書館には蔵書していません。

僕が紹介する作品は異世界ファンタジーです。主人公は僕たちが住む世界で生まれ、テレビアニメや本を通して「陰の実力者」に憧れます。修行を積み、核爆弾を手ではじき返す唯一無二の人間になろうと努力を重ねます。人間という種の限界を目の当たりにし、魔力を本気で追い求めますが、交通事故で死亡してしまいます。その後、異世界に転生し魔力を得て「陰の実力者」になろうと奮闘します。この本の面白ポイントは、他の異世界転生ファンタジーにはないような馬鹿々々しさ加減があまり物語自体を重くせず、非常に読みやすい作品になっているところです。本に抵抗のある人や同じようなシナリオの本にいい加減飽きてしまっている人にはぜひともおすすめの1冊です！！

(担当：3-A 西野靖崇)



未所蔵

私と読書 原添 先生

約30万円。私が図書館で感動したり、心が温まったり、知識を得ることができた金額である。そのきっかけの本は、京極夏彦「終新婦の理」。読書から遠のいていたときに手を取り“本って楽しいな”と改めて感じた一冊である。

まず、原田マハ。美術に精通した作家で、絵画の推理もの「楽園カンヴァス」は借りた後、自分の本にしたいと購入した一冊。美術以外にも、言葉の力“の凄さを感じる「本日は、お日柄もよく」は中学生に読んでもらいたい本である。

伊坂幸太郎は様々なジャンルの本を書いており、どれもユーモアのある本ばかりで特に「殺し屋シリーズ」は面白い。仰々しい感じを受けるかもしれないが、試しに手に取ってもらいたい本である。

長編では、北方謙三「水滸伝」。終わりに近づくとつれ、終わらないでほしいと思いながら読んだ51冊。人間模様だけではなく、軍の戦い方や急に襲われたときの対応の仕方など勉強させられる本である。

人生を大事に過ごさなければいけないと気付かせてくれるのは山田宗樹「百年法」。

図書館で戦争するんでしょ”と手に取らなかつた(読まず嫌いだった)ことを後悔した有川浩「図書館戦争」主人公が格好良すぎてたまらない。

図書館は宝庫である。是非、足を運んで様々な本に出会ってほしい。

(担当：3-A 中尾百香)



「グラスホッパー」  
伊坂幸太郎  
B913い



未所蔵



未所蔵



「楽園のカンヴァス」  
原田マハ 913は



「本日はお日柄もよく」  
原田マハ B913は



「図書館戦争」  
有川浩 913あ